

ティケア施設でいい湯だな!!

「介護度の高い高齢者も温泉につかってもらいたい癒やしてほしい」。日本有数の温泉地である静岡・伊東温泉から直送した温泉の湯を使つたティケア施設「湯治の森」が、川崎市川崎区桜本と同市多摩区宿河原にオープンした。同施設を利用する認知症や、介護が必要な高齢者にとっては温泉気分を味わえる朗報といえそうだ。

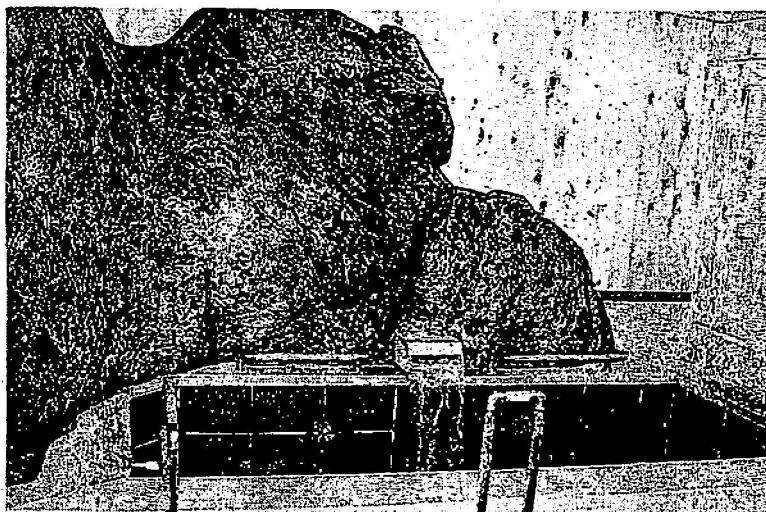
(木村留美)

川崎区と多摩区の「湯治の森」

運営するのは、介護福祉社、ソフト開発に取り組むライズ・インターナショナル（川崎市多摩区）。同社によると、浴場だけ、約二十平方㍍の広さがあり、整備費は約二千万円。浴室には人工岩を配して温泉地をほうほうさせた造りになるといふ。介助用のリフ

両施設で、約二十人の

高齢者らが入浴施設を利用。職員によると「感謝の意を表すように浴槽で手を合わせていた」「風



介護受ける高齢者の癒やしに

利用料金は、要介護度や認知症の有無などで異なり、入浴料五百三十円のほか、ティーサービス料、食費などが必要。問い合わせは同施設（桜本）（270）5678（桜本）、（030）3456（宿河原）。

田舎で入浴するようになつてから食事も進むようになつた」と、温泉への反応は上々という。

同社の菊地康夫社長は

温泉を取り入れた理由について「介護保険を受けている高齢者は、金体から見れば少數で、やる気を失っている人もいる。頑張れと言って頑張れる人ばかりではない。介護される状態になつてから、できなくなつた経験をしてもらつことで、次の可能性を見つけてもらおうとした」と説明。

「温泉の力で、何かの役に立つかもしれない」と、さりなる「効能」に期待を寄せている。

利用料金は、要介護度や認知症の有無などで異なり、入浴料五百三十円のほか、ティーサービス料、食費などが必要。問い合わせは同施設（桜本）（270）5678（桜本）、（030）3456（宿河原）。